

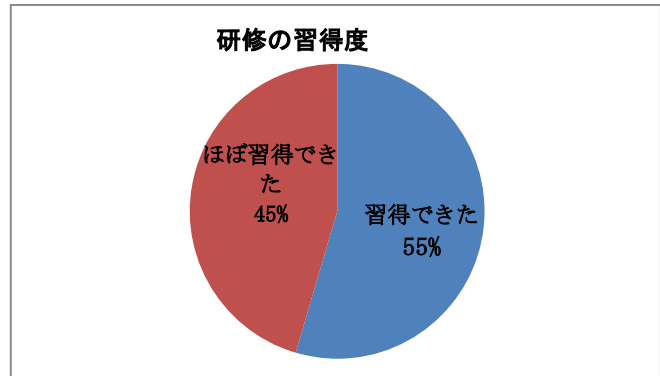
## 平成30年度 グローバル産業人材育成事業 分析データ・アンケート結果

### 国内外OJT派遣 採択企業のアンケート結果

研修生を対象に研修効果と企業の海外展開の進捗度合について質問した。

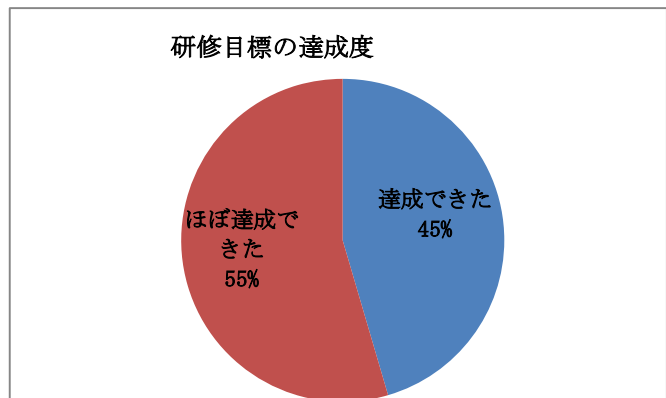
#### ①研修の習得度

習得できた	6
ほぼ習得できた	5
あまり習得できなかった	0
習得できなかった	0



#### ②研修目標の達成度

達成できた	5
ほぼ達成できた	6
あまり達成できなかった	0
達成できなかった	0

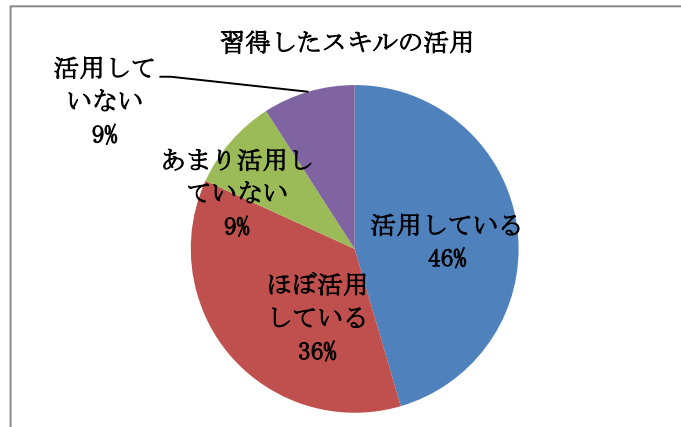


#### <習得できたこと>

- ・ 現地向けの商品開発と販売手法。
- ・ 研修先とコミュニケーションを取り続けることで海外進出の足がかりが構築できた。正確さよりスピードを重視する中国において、自らできない事を早めに判断し、『信頼できる外注先』と組む重要性を理解した。
- ・ 中国市場のニーズと客層。中国で成功するための瞬発力と事業推進力の重要性
- ・ 台湾での国際輸送手配の知識の習得と研修先のスタッフとのネットワーク構築
- ・ 契約書、業務フローの理解、必要スキルの理解（海外用SNS, ツール, APIなど）
- ・ HACCP導入への基本知識・重要項目・記録・マニュアル等、製造に関する全ての基本知識と安全な商品提供についての重要性

③習得したスキルの活用

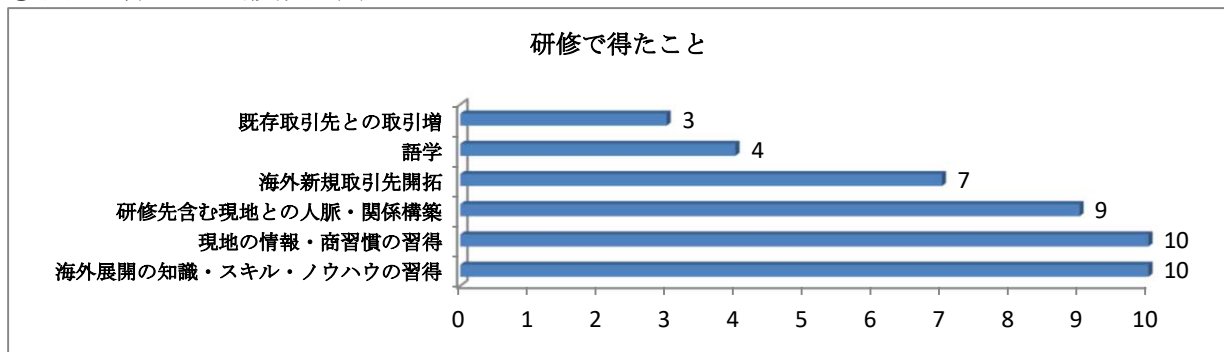
活用している	5
ほぼ活用している	4
あまり活用していない	1
活用していない	1



<活用できていること>

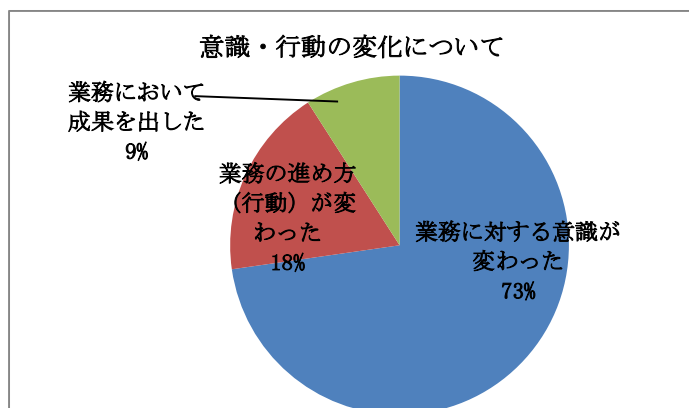
- ・商品造成の方法。東京、京都などもパッケージにしていく。
- ・中国でのビジネスパートナー。
- ・アグリツーリズムの知識を用い、県の特産品を使った商品開発やインバウンド集客
- ・契約書の作成方法や必要なソフトウェアスキル

④研修で得たこと(複数回答)



⑤意識・行動の変化について

業務に対する意識が変わった	8
業務の進め方(行動)が変わった	2
業務において成果を出した	1
以前と変わらない	0
スキルを実践できる場がない	0



#### <研修生の意識・行動が変わった点>

- ・商品造成や、販売方法も変化した。例えば、フランス人にはフランス語での対応が必要。当たり前前の事が見えていなかったと気づいた。
- ・前もって準備を完璧にするだけでなく、まずはやってみてそこから学んだものを活かす「臨機応変」に動くことを重視するようになった。
- ・目の前の業務の事だけではなく、全体の効率を考えるようになり、残業が少なくなった。
- ・目標達成に向け具体的にどう動くべきか考えて行動するようになった。
- ・研修を応援してくれた会社へ、業務を拡大を通して還元していきたい。
- ・海外との業務が身近になった
- ・見えてくる世界観が代わりミーティングなどの言葉も変わった。
- ・完璧よりもプロジェクトを終わらせること。確実性よりもスピード。行動力と瞬発力を意識するようになった。
- ・コミュニケーション能力や前向きな姿勢の大切さに改めて気づいた。
- ・研修の日報のように、自分で行った業務をスケジュールに記入し、目標や反省などを残すようになった。
- ・海外事業に関して次のステップが明確になった。

#### <良かったことや印象に残ったこと>

- ・現地の研修先の人たちとの交流、現地地理に強くなった。
- ・中国人の柔軟性や前向きな姿勢。
- ・台湾で頑張っている県人との交流が出来たこと。台北と高雄地域性(気候、文化、人)を感じられたこと。
- ・何事も挑戦することで視野が広がり、学びたかった事が達成出来たこと。人の繋がりが大切だということ。
- ・目標を達成するには、具体的に動き周りを巻き込んで進めていくことが大切だということ。
- ・研修先の企業が歓迎会を開いてくれ、多くの人が協力してくれたこと。

#### <研修中、困ったこと>

- ・不慣れな土地で地理も迷い寂しいと思う事も多かった。また、飲食代が高く出費となった。
- ・計画通りの研修実施が難しく、研修先の状況も常に変わるため計画にもっと余裕が欲しい。
- ・語学力があればもっと深く学べたらと思う点が多かった。
- ・専門用語や言い回し等、現地の言葉に戸惑った。
- ・中国語でのやりとり、英語だけでの対応では不便さを感じる事が多々あった。
- ・現地企業の紹介などをして頂ければ研修が加速すると思う。(提案)